

CTED NewsLetter

Center for Teacher Education and Development, Okayama University

スクールボランティアフェアに参加し、 やってみたいボランティアを見つけ出そう!

学生
向け

スクールボランティア フェア2017



日時: 4月12日(水) 16:20~18:30
場所: 岡山大学教育学部本館4階

参加対象
・教員を目指す学生
・ボランティアに興味がある学生

参加申込不要
入退場自由

2017年度の出展ブース

- 「教師への道」インターンシップ / 岡山県教育庁
- 児童生徒の学習支援ボランティア / 岡山県教育庁
- 渋川マリンス 2017 / 岡山県渋川青年の家
- 岡山県放課後子ども教室・岡山県放課後児童クラブ / 岡山市
- はじめよう! 岡山市学校支援ボランティア / 岡山市教育委員会
- 中学生だっぴ / 岡山市市民協働推進モデル事業 / 岡山市・岡山市教育委員会
- 自然体験ボランティア / 岡山市立少年自然の家
- 妹尾中学校土曜受験対策勉強会 / 岡山市立妹尾中学校
- 力をつけたい人に 倉敷市学校園支援ボランティア! / 倉敷市教育委員会
- 施設ボランティア「グリーンズ」 / 青少年教育センター関谷学校
- 赤磐市学習支援ボランティア / 赤磐市教育委員会
- はやし塾 / 〔はやし学支援本部(早島町教育委員会)〕
- 和気町英語公塾 講師ボランティア / 〔和気町役場〕
- フィールド・チャレンジA・B / フィールド・チャレンジ委員会
- 何でも相談コーナー / SVB学生スタッフ

プログラム
16:20~ 受付・ブース出展開始
16:30~17:00 フィールド・チャレンジ説明会 (岡山大学)
17:10~17:40 「教師への道」インターンシップ説明会 (岡山県教育委員会)
17:50~18:30 岡山市学校支援ボランティア登録研修会 (岡山市教育委員会)
18:30 フェア終了



ブースで担当者から活動内容を聞いて、相談したりできるよ!

主催/岡山大学教師教育開発センター 岡山大学大学院教育学研究科 岡山大学教育学部
お問い合わせ先 岡山大学教師教育開発センター スクールボランティアビューロー
〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1-1
TEL: 086-251-7728 FAX: 086-251-7586 E-mail: cted@okayama-u.ac.jp

出展ブース名称(団体名)	出展ブース名称(団体名)
「教師への道」インターンシップ 【岡山県教育庁】	妹尾中学校土曜受験対策勉強会 【岡山市立妹尾中学校】
児童生徒の学習支援ボランティア 【岡山県教育庁】	力をつけたい人に 倉敷市学校園支援ボランティア! 【倉敷市教育委員会】
渋川マリンス 2017 【岡山県渋川青年の家】	施設ボランティア「グリーンズ」 【青少年教育センター関谷学校】
岡山市放課後子ども教室・岡山市放課後児童クラブ 【岡山市】	赤磐市学習支援ボランティア 【赤磐市教育委員会】
はじめよう! 岡山市学校支援ボランティア 【岡山市教育委員会】	はやし塾 【はやし学支援本部(早島町教育委員会)】
中学生だっぴ(岡山市市民協働推進モデル事業) 【岡山市・岡山市教育委員会】	和気町英語公塾 講師ボランティア 【和気町役場】
自然体験ボランティア 【岡山市立少年自然の家】	フィールド・チャレンジA・B 【フィールド・チャレンジ委員会】
	何でも相談コーナー 【SVB学生スタッフ】

今回で4回目を迎えるこのフェアでは、岡山県内の教育委員会や学校、社会教育施設等の関係者に、学生ボランティアを募集するための説明ブースを出展していただいています。学校支援ボランティアに取り組む意欲のある学生が直接ブースを回り、そこでの説明を聞いて興味や関心がわけば、活動が始められるきっかけ作りを行うことを目的として開催しています。

これまでの3回は土曜日に、岡山大学創立五十周年記念館において開催していましたが、できるだけ多くの皆さんに参加してもらうため、今回は平日に教育学部棟で、岡山大学生を対象に開催してみることにしました。また、学生の皆さんにできるだけ支障がないように、スクールボランティアビューロー学生スタッフと相談の上、開催時刻を少し遅めに設定しました。時間もこれまでより少しコンパクトにしましたが、内容的には盛りだくさんになっています。まず、岡山県教育委員会が実施している「教師への道」インターンシップの説明会、次に、岡山市教育委員会が実施している岡山市学校支援ボランティア登録説明会、さらに、これまでこのフェアでは実施していなかった、主に1年生を対象にした「フィールド・チャレンジ」の説明会があ

ります。各ブースをゆっくり見て回るという訳にはいかないかもしれませんが、興味のあるところから積極的にチャレンジしてほしいです。また、当日は、皆さん方のちょっとした疑問や相談に気軽に応じるため、先輩の学生スタッフがブースを出展しますので、遠慮なく立ち寄ってほしいと思います。

前回参加した人からは、「ボランティア活動について、たくさんの情報を得ることができて、よい時間が過ごせた。」「どのブースでも詳しく活動内容を教えてくださったので、分かりやすくてよかった」といった声が寄せられています。

教員を目指している人はもちろん、そうでない人でもボランティアに興味がある人は、どんどん参加してください。お互いに声を掛け合って、一人でも多くの学生の皆さんが参加して下さることを願っています。

※ 来年度の「スクールボランティアビューロー学生スタッフ」を募集しています。ボランティア活動に興味がある人は、ぜひ申し込んでほしいです。詳しいことは、教師教育開発センター(教育学部本館2階201室)に来てください。

【文責:近藤弘行】

今号の主な記事

- 【特集】スクールボランティアフェア2017
- 【報告】教師力養成講座 第5回~第7回
- 【報告】CST認定証授与式
- 【報告】授業力パワーアップセミナー
- 【報告】ボランティアシンポジウム
(岡山県・岡山市 教育委員会)
- 【連載】《教員リレーエッセイ》
教職コラボレーション部門・教職支援部門
小林清太郎 教授(特任)
- 【連載】教員採用試験のツボ その十九
「今こそ小論文に挑戦しよう」
- 【連載】教員採用試験受験記:
宮永孝裕 さん(教育学部)
- 【案内】センター紀要 第7号刊行
- 【案内】全学教職オリエンテーション開催

教師力を身につけるための講座を実施！

学生
向け

第5回教師力養成講座 12/21 『人の気持ちがわかる教師』とは』



第5回講座は、岡山市立御南中学校校長植田朋哉先生に、生徒の気持ち知ることについて講座を進めていただきました。

始めに、先生が出会われた車いすの女性教師との体験談を紹介され、2回のグループ活動をもとにした意見交換が行われました。まず、その教師の手紙を手がかりに彼女の気持ちを考えました。次に、「中学生なら、彼女の気持ちをどうとらえるだろうか」を予想しました。最後に、この体験を教材として植田先生が実践された授業での中学生の感想をもとに、中学生の感性や発想について話されました。人の気持ちを推し量ることは大変難しいこと、ありのままの姿を認めること、悪意のない優しさが人を傷つけることがあること、結果的に相手を傷つけたとしてもそこに優しさがあることなど、中学生の感性の鋭さや多様性に驚かされました。

教師が「中学生は・・・」と自分の固定観念だけで言動を判断してしまうと、目の前にいる生徒の真の気持ちを理解することは難しいと学びました。同時に、人とつながることで相手への理解を深められることも学びました。これまで学校や教育委員会で様々な人の心と向き合ってきた講師の先生の一言一言が深く心に響き、人の気持ちがわかる教師になって欲しいという思いが伝わってきました。

【文責：武藤幹夫】

第6回教師力養成講座 1/11 「学ぶ意欲を高める授業づくり 学級づくりについて」



第6回講座には、岡山市立西大寺小学校小野桂子先生をお招きしました。先生の日々の実践を疑似体験する活動を織り交ぜながら、授業づくりや学級づくりについて熱く語っていただきました。

まず、先生の理想とする授業は、子どもの学ぶ意欲が高まる授業であり、そのために体験活動を重視しているというお話がありました。最初に参加者が体験した「朝学習」で、全員が声をそろえたり全身を使って動いたりといった活動で、やる気がわいてくるのを実感しました。続いて体験した外国語活動の授業では、英語を活用しながらペアやグループで交流し、一つのものを完成させる楽しさを味わいました。こうした体験をもとに、学ぶ意欲を高める授業づくりのポイントを探りました。「できた」「わかった」と、自分の能力の伸びを実感させ自己肯定感を高めること、小集団を活用し全員で学ぶ授業にすることなど、重要な点が明らかになりました。

次に、話題は学級づくりに移りました。「学級」という言葉からクラスをまとめて考えてしまいがちですが、各々に持ち味がある子ども一人一人の成長の結果が「学級」という集団の成長につながるこの大切さを学びました。授業づくりが学級づくりの基盤であることも心に刻まれました。

【文責：武藤幹夫】

第7回教師力養成講座 1/25 「授業づくりのコツ」



第7回講座は、毎年取り上げている「授業」をテーマにして岡山大学附属中学校後藤亨朗先生に、日々の授業づくりで大切にしていることを話していただきました。

前半では、専門職である教師には、授業をするにあたって「教えるべきことの本質をとらえること」「それを子どもに確かに伝えること」が求められるというお話がありました。授業を構成するとき、相手、目的、条件、方法、評価という視点をもって計画することで、子どもが「わかった」「おもしろい」と感じる授業を作り上げることができることを学びました。後半は、一茶の俳句「■の道 雲の峰より 続きけり」を教材として、参加者が生徒の立場で、■に入れる言葉を探るグループワークに取り組みました。まず一茶の句づくりの特徴や人物像などを聞いて、活動に入りました。グループから発表された蝉、蟻、雁、鳥などの考えを受けて、先生が「対比」という視点を手がかりにして意見を整理されました。

教師がねらいを明確にもって要所で生徒の意見を位置づけながら展開すると、子どもは授業の中で学ぶ楽しさと追求する楽しさを体感できることを学びました。

【文責：武藤幹夫】



これまでの教師力養成講座を各50分程度に編集したDVDがあります。

教職相談室で観ることができます。

CST認定証授与式

3月23日（木）と3月28日（火）に、学生及び現職教員を対象とした平成28年度CST認定証授与式が行われました。本年度は、学生13名が初級CSTに、現職教員7名が中級CSTにそれぞれ認定され、学生には高塚センター長から、現職教員には今井副センター長から、一人一人に認定証が手渡されました。

大学と教育委員会が協働して実施するCST養成プログラムでは、参加していただいた学生や現職教員の方々が「自信をもって理科の指導ができる」「地域の小・中学校の理科教育を推進できる」「指導に困っている先生を支援できる」小・中学校の教員として活躍していただけるよう、内容や方法を改善しながら講座等を実施しています。今回CSTに認定された方々は、教育現場の理科教育を支える人材として、先に認定された先生方とともに力を発揮していただけるものと思います。

なお、28日には、平成29年度からプログラムに参加していただく現職教員第七期生9名に対する説明会も開催されました。

【文責：山崎光洋】



平成28年度授業力パワーアップセミナーを実施しました!!

去る8月4日（木）・12月27日（火）の両日、「授業力パワーアップセミナー」を開催しました。岡山県教育委員会（津山教育事務所）との共催により、かねて要望の高かった県北での開催が実現しました。今回は中学校に限定し、かつ県教委が推進する「校内OJTチーム」を活用したことに特色があります。若手教員の授業づくりを校内の先輩教員が支援し、ともに高め合い、校内に授業改善の気運を高める契機として頂くことができました。県北の9中学校・10チーム、総計37名（若手24名、先輩13名）の受講者がありました。本学からは高塚センター長、加賀、三村、桑原副研究科長をはじめ、延べ34名の先生方に講師としてご参加頂きました。さらに初日と2日目の間では、津山教育事務所の藤原敏三先生、芦田周作先生を中心に、校内での取組状況や課題を丁寧に把握し、折々の指導助言に奔走して頂きました。ご協力頂いた先生方に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

このセミナーは、大学による直接的な地域貢献であるばかりではなく、指導助言を行う大学教員間の、実地に即したFD研修の機会でもありました。平成29～30年度も県北会場で開催します。平成29年度は今回の反省を踏まえ、先輩教員のみを対象とした研修を別途開催します（6月29日）。また、初日（8月8日）と2日目（12月25日）の間を充実させるため、中間時点での学校訪問や指導助言に大学の先生にも加わって頂き、継続的な支援ができる仕組みを作る予定です。改めてご案内しますので、その節は何卒よろしくお願い申し上げます。

【文責：高旗浩志】

合格

< 教員採用試験受験記 > 岡山県 高等学校教諭 合格

教育学部 学校教育教員養成課程
小学校教育コース(数学専修)
宮永 孝裕 さん

教員採用試験の準備は進んでいますか。どうやって勉強したらよいかわからない人もいます。ここでは、私が意識していたことを書かせてもらいます。

まず、できるだけ友だちと一緒に勉強することを心がけました。教職教養などは範囲が広いので、一人で勉強しても終わりが見えません。友だちと知識の共有をはかり、要点を絞って勉強することが大切です。

次に、相談室を積極的に利用しました。先生方へ小論文や面接のご指導をさせていただくのはもちろんのこと、教職を目指す多

くの学生とふれあうことができます。あまり関わったことがない人と一緒に練習するというのはとても良い経験になると思います。自分から積極的に声かけ・参加してみてください。

「為せば成る」です。自分の努力に自信を持てるよう精一杯頑張ってください。応援しています。

教員採用試験の

ツボ

その十九「今こそ小論文に挑戦しよう」

連載

各自治体の採用試験の内容を見ると、小論文は二次試験に取り入れられている所が圧倒的に多いことが分かります。また、小論文が試験内容にない所もあります。それにもかかわらず、この時期にすべての人に小論文に取り組むことをお薦めしています。これには大きな理由があるからです。

各自治体の説明をお聞きしていると、人物評価がどんどん重視されるようになって

きているようです。人物を評価する際、明るさ、積極性、協調性などに加えて、教育に対する考え方や指導法がどの程度身に付いているかが問われます。「教員に必要な資質は何か。」「コミュニケーション能力はどのようにして育成するか。」「いじめの未然防止のためにどのような実践をするか。」など、個人面接で尋ねられても即答するのは難しいものです。様々なテーマの

小論文に挑戦することを通して、しっかりした考え方や具体的な取組の方法を整理して身に付けておくことが大切です。

面接や模擬授業などの練習に取り組む前にぜひ小論文に挑戦しましょう。それは「今」しかありません。この時期を逃さないことが採用試験突破の大きな鍵になります。過去問を参考にし書き、教職相談室へ持って来てください。【文責：河内智美】

インターンシップシンポジウムの開催



3月11日(土)に岡山県教育委員会との連携協力重点事業である、「教師への道」インターンシップ事業のシンポジウムが岡山大学で開催されました。今年度のシンポジウムでは、「これからの教員に求められる資質能力」をテーマに、パネルディスカッションが行われました。パネリストは「教師への道」研修を受講した環太平洋大学とくらしき作陽大学の学生、県教育庁義務教育課の石本参事、岡山大学の上村准教授で、ファシリテーター役を私が務めさせていただきました。各パネリストからの基調提案の後、「どのような教員になりたいか、目指す教員像とは」「これからの一年間をどのように過ごすか」の二つの議題についてディスカッションが行われました。約150名の参加者からも積極的な発言が続き、大変有意義なシンポジウムになりました。ご協力をいただきました皆様に感謝申し上げますとともに、参加した学生が将来岡山県の教員として活躍されることを期待しています。【文責：今井康好】

岡山市教育委員会主催の岡山市学校支援ボランティア「学生シンポジウム」を開催 SVBのメンバーも大活躍!!



2月18日124名が参加して第14回の岡山市学校支援ボランティア「学生シンポジウム」が本学で開催されました。

体験者からは、子どもの為に役立ちたいとの思いから、自分なりに様々な工夫を考えたという発表や、岡山市で始まった学習活動サポーターズについてチームで活動することの素晴らしさを実感したという発表がありました。ボランティア経験を経て現場の教師になった先輩からは、経験した多くのことが今の仕事に生きているという話があり、受け入れ校の先生からは、児童の感想の中に「自分もいつかボランティアをしたい」という言葉があったことに感動したという話もありました。今年も県内大学7校からの実行委員がすべての運営を行い、SVBのメンバーも実行委員あるいは発表者として大活躍の一日でした。【文責：橋本拓治】

積極的にチャレンジしよう！ 一失敗から学べ、反省しても後悔するな一

教職コラボレーション部門・教職支援部門

小林 清太郎 教授(特任)

他人から少し難しそうなることを頼まれた時や、自分が興味・関心を持っていることに対して、「失敗するかも知れないから」「難しそうだから」等とチャレンジする前から諦めていませんか。そして、後から「引き受けておけば良かった」「やってみれば良かった」等と後悔した経験はありませんか。

最初は難しそうだと思っていても、最後まで辿り着けることは多くあります。途中で失敗に気付いたら、その時点で修正してやり直せば良いのです。この経験を今後に生かすことで、次は失敗せずに済みます。

チャレンジすることで初めて多くの学びがあり、自分自身が確実に成長できます。

他人に何かを依頼する時は、「この人なら大丈夫だ」と思った人にします。断ってばかりいると、この人は「きっと断るだろう」と判断され、簡単なことも依頼されなくなります。その結果、成長できるチャンスの芽を自ら摘み取ることになります。そうならないように、信頼できる人から頼まれた時は「大丈夫、自分ならできる」と強く信じ、前向きに気持ちよく引き受けましょう。

また、思ったような結果が得られなかった時に「止めておけば良かった」と後悔していませんか。チャレンジしたことを後悔しては、引っ込み思案になります。上



手くいかないときこそ「今度は絶対に成功させるぞ!」と気合いを入れ直し、出来るまで何度もチャレンジすることが大切です。

常に高い目標を持ち、達成できるまで何度もチャレンジしてください。そして一旦行動を開始したら、途中で反省はしても、決して後悔だけはしないでください。

センター紀要(第7号) 発行のご案内

教師教育開発センター紀要(第7号)を3月27日に刊行しました。第7号は研究論文17本、実践報告3本、資料1本の計21本を掲載しています。「岡山大学学術成果リポジトリ」の下記URLからPDF版を無償で入手できますので、ぜひご一読ください。

また次号も、投稿希望の方は、1月の「原稿締切日(原則1月7日、土日祝の場合は1月7日以降の平日)」に原稿を提出していただくようになります。原稿募集についての詳細アナウンスは、秋頃、教師教育開発センターホームページにて行う予定です。皆様の意欲的な投稿をお待ちしています。

【岡山大学学術成果リポジトリURL】

<http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/journal/cted/>

「全学教職オリエンテーション」〈主として1年生対象〉

全学オリエンテーションは、教育学部以外の学部に所属しながら教員免許状取得を目指す学生さんを対象に実施する最初のプログラムです。教職への意志が明確な人も、迷っている人も気軽に参加してください。お待ちしております!

〈前半部〉 ※後日「後半部」が別途あります。

【文系学部】 日時：平成29年5月12日(金) 7,8限

場所：教育学部講義棟2階 5202

【理系学部】 日時：平成29年5月10日(水) 7,8限

場所：教育学部講義棟2階 5202